

■社会貢献活動

項目	内容
平成29年 大阪中学生サマー・セミナーの開催	大阪の大学（団体）が、中学校の夏休み期間中に様々な講座を開催する「平成29年大阪中学生サマー・セミナー」が、大阪中学生サマー・セミナー推進協議会主催により開催されます。大阪の34の大学（団体）が、中学生向けにそれぞれの特色を活かしたユニークな講座を開催し、将来の夢の実現に向けた勉強や、夏休みの思い出作りをお手伝いします。本学は7月23日（日）から8月25日（金）までの間、全7講座を担当します。参加には申し込みが必要です。申し込み方法、注意事項などは下記の開催リンク「大阪中学生サマー・セミナー」にてご確認ください。 7月23日（日） 13:30～15:00 「色が変わるうどん」をつくろう 一食と塩基の性質— 7月25日（火） 13:00～16:00 電気の実験室「ラジオの製作」 7月31日（月） 10:00～16:00 集積回路を設計してみよう！ 8月 4日（金） 10:00～15:00 移動ロボットの状態制御にチャレンジ！ 8月 4日（金） 10:00～15:00 Mindstorms NXTを用いたロボット作り教室 8月10日（木） 13:00～16:10 音声や画像をいろいろ加工してみよう！ 8月10日（木） 15:00～16:30 スポーツのガガを紹こう！
デジタルゲーム学科がグラフロント大阪でイベントを開催	総合情報学部デジタルゲーム学科は、8月にグラフロント大阪ラブリッジチャピタルにて3つのイベントを開催します。IoTとCGをテーマにしたセミナーや、子ども向けの電子工作体験、空中に浮遊する像を使った作品展示など、夏休みのおでかけにもぴったりの楽しいイベントです。 8月2日（水）「クラブマンシップセミナー」・時間：15:00～18:30・場所：ザ・ラボ内アクティバスタジオ（北館2F） 8月6日（日）・7日（月）「わくわく電子工作」・時間：13:00～16:00・場所：ザ・ラボ内アクティバスタジオ（北館2F） 8月29日（火）～31日（木）「エア・フローティング・メディア展vol.13」・時間：11:00～18:00・場所：ザ・ラボ内アクティバスタジオ（北館2F）
「新天地 in NEYAGAWA 2017」でプロジェクションマッピングを上映	10月7日（土）、本学の産学連携の中心的施設であるJIAMS（先端マルチメディア合同研究所）が、「新天地 in NEYAGAWA 2017」のプレイベントとして成田山不動尊でプロジェクションマッピングを上映します。東門よけとして建てられた歴史的な建物の正面をスクリンとして、和太鼓とコラボさせた光のアートを2回にわたりお届けします。また、1回目と2回目の間にはオカリナ演奏も行われます。なお、当日の様子は「庵chul（てんちゅう）」（大阪電気通信大学中継チーム）がネット中継を行う予定です。
「武将補正行絵本制作プロジェクト」が絵本完成プレゼンテーションの実施	10月28日（土）に開催される四條畷補正の会発足3周年記念事業のイベント「武士道の心、補正行、幕」で、総合情報学部デジタルゲーム学科の「武将補正行絵本制作プロジェクト」が絵本完成プレゼンテーションを行います。四條畷補正の会は、四條畷陣所に祭られている南北朝時代の武将「補正行」の伝説活動に取り組みで、発足3周年を記念した本イベントでは、デジタルゲーム学科によるプレゼンテーションのほか、華道実演ワークショップ、特設展示の催しが予定されています。同会と本学の共同プロジェクトである「武将補正行絵本制作プロジェクト」は、このプレゼンテーションに向け、多様な月より講義や学外での実習を通して絵本制作を進めてきました。学生たちはグループに分かれ、6つのテーマで絵本を制作してきましたが、その内容はクレヨンタッチのものからデジタルアートのものまで幅広く、それぞれの絵本に学生たちのアイデアが詰まっています。学生たちが独自の視点と感性で補正成を表現した6冊の絵本を、是非ご覧ください。
大阪電気通信大学国際ワークショップの開催	大阪電気通信大学国際ワークショップ（日本物理学会大阪支部講演会）を10月27日（金）、28日（土）に開催します。このワークショップでは結晶表面上の「ステップ」に焦点を絞り、超高真空中の表面における「ステップ」研究の世界的研究者であるメーランド大学 Theodor L. Einstein 教授をお招きし、ワークショップを行います。T. L. Einstein 教授の講演と合わせて、国内の世界的な研究者による講演及びポスター講演などを通して深い議論を行うことができます。
公開講座「皮膚のバイオメカニクスと臨床応用」の開催	公開講座「皮膚のバイオメカニクスと臨床応用」を10月29日（日）に開催します。近年、目覚ましい進歩を遂げてきた最新の皮膚のバイオメカニクス研究について、内外のトップランナーである福井 勉氏を招いて講演を行います。超音波診断装置や3次元動作解析装置などの客観的評価に基づいた、基礎から臨床応用につながる最新の知見を紹介いたします。
学術講演会「画像技術の最前線：テレビジョンからロボットビジョンまで」	12月1日（金）、情報学研究科 視覚情報学研究室は、学術講演会「画像技術の最前線：テレビジョンからロボットビジョンまで」を履修キャンパスで開催します。本講演会は、視覚情報学の最前線で活躍する先生方をお招きし、講演並に討論を通じて、最前線の研究内容の理解を深め、今後を展望する上での一助としたいと考えています。今回は、テレビジョン、コンピュータビジョン、ロボットビジョンの領域で最先端の研究に取り組んでおられる先生方をお招きし、最新の研究事例をご紹介頂きます。本学の教員、学生をはじめ、一般の方々もご参加いただけます。
地域講演会「発達障害者の幼児期から成人期に至る子育てで大切にしたいこと」の開催	大阪電気通信大学 駅前キャンパスにて地域講演会を開催いたします。発達障害児をお持たす親御様、発達障害児にかかわる保育士、教員支援者等の方及び発達障害に関心のある方を対象として後援いたします。
金融経済学部資産運用学科「シニア向け社会人セミナー」の開催	1月25日（水）、金融経済学部資産運用学科による「シニア向け社会人セミナー」を駅前キャンパスで開催します。当日は金融経済学部資産運用学科の中正彦教授をお招きし、「経済について実務を中心に考える」をテーマに、木山剛三氏（木山財務コンサルティング事務所代表、本学名誉教授）が講演を行います。講座では、環境や時とともに変化する「終活」について、元気な間にやるべき準備や、今後の生き方、楽しみ方など、幅広い内容でお話しさせていただきます。
公開教養講座「コミュニティ・ビジネス通訳入門」の開催	3月10日（土）、17日（土）の2日間、公開教養講座「コミュニティ・ビジネス通訳入門」を駅前キャンパスで開催します。この講座は、特に地域の英語を使う会社員や英語教育の方を対象に、学習の場の提供のために開催するものです。2日間を通じての内容となりますが、1日のみ受講も可能となっております。
公開講座「親子孫でたのしい仮説実験講座」の開催	3月17日（土）、18日（日）の2日間、「あかりの科学」をテーマにした公開講座「親子孫でたのしい仮説実験講座」を履修キャンパスで開催します。「親子孫でたのしい仮説実験講座」は、大学近隣の地域の方々を中心に親子孫の世代を通して科学の楽しさを体感していただくことを目的とした理科実験講座です。今回このテーマで「あかりの科学」です。「今まで見えなかった世界」が見えてくる、そんな体験を、ことごとく大人で家族みんなで味わってみたいと思います。
公開教養講座「英米の小説の謎を読み解く」の開催	3月6日（火）、13日（水）、20日（火）の3日間、公開教養講座「英米の小説の謎を読み解く」を駅前キャンパスで開催します。この講座は、地域の英語圏文化や文芸に関心ある高齢者の方を対象に、学習の場の提供のために開催するものです。3日間のうち、いずれか1日のみ受講も可能となっております。
「クローリンリバー-履修川作戦 春」に参加	5月28日（日）履修川市主催による「クローリンリバー-履修川作戦 春」が開催され、本学から学生、教員も合わせて、46名参加しました。幸い好天にも恵まれ、履修川市駅前のおせせらぎ公園内の清掃活動に奔走しました。クローリンリバー-履修川作戦は、市内を流れる履修川を市民が取り巻く環境豊かな美しい川にするため、市民と一緒にまちをきれいにすることを主旨として履修川市が呼びかけたもので、美化意識、自治意識の高揚を図るための清掃活動です。本学では、今後も積極的にクローリンリバー活動に参加していきます。
「履修川市駅前一斉清掃活動」に参加	6月4日（日）、「履修川市駅前一斉清掃活動」が行われ、本学からは25人の学生と教職員が参加しました。この活動は、履修川市社会を明るくする活動推進委員会による「まちを明るく清潔にする運動」の取組の一環として、3月、6月、9月、12月の第1日曜日に、市内4駅（京阪履修川市駅、豊島駅、香里園駅、JR東履修川市駅）前で清掃活動を実施しています。本学でも履修川市の取り組みに賛同し、社会連携活動の一環として毎回参加しています。さわやかな気候の中、学生たちは地域のみなさんとともに清掃活動に励み、有意義なひとときを過ごしました。また、駅前一斉清掃の終了後は、京阪履修川市駅前履修川キャンパスまでの経路を二手に分けて清掃しました。本学は、今後も清掃活動などの地域貢献活動続けていきます。
木津川市立木津第二中学校（京都府）の大学体験・見学会の実施	6月6日（火）、木津川市立木津第二中学校の3年生23人と先生1人を対象に、四條畷キャンパスで大学体験・見学会を実施しました。本学で、大学で中学校の進い、本学についての必要を説明し、大学に対するイメージを深めていただきました。中学生の皆さんからは、「卒業生はどんなところに就職していますか？」、「どここの高校から入学していますか？」など大学への関心の高さがうかがえる質問があり、熱心に回答の返を聞いていました。続いて3グループに分かれ、先端マルチメディア合同研究所JIAMS（シェアムズ）で、既学の実験に実演の映像を合成するCM制作体験や、映像に効果音をあてるアプリ制作体験、人間の動作をCGキャラクターに実演する「モーションキャプチャー」体験及びCGSスタジオ見学を実施しました。中学生の皆さんに、大学についてのイメージを深めていただくとともに、本学にも興味・関心をもっていただく大変貴重な機会となりました。
「京阪沿線ふらり学食めぐりスタンプラリー」に参画	本学は、京阪沿線にある大学の学食をめぐる「京阪沿線ふらり学食めぐりスタンプラリー」に参画します。京阪沿線の9大学が参画するこのイベントは、各大学の学食めぐりスタンプを集めるというもので、スタンプの集めに合わせて、抽選でオリジナル賞品が当たります。本学では、このイベントの開催を機に、地域のみなさんに本学の興味を持っていただくことにも、沿線に大学が多く、通学に便利でオリジナルアートを盛り上げます。
「大阪880万人訓練」に参加	9月5日（火）の11時頃、大阪府が実施する「大阪880万人訓練」に参加しました。「大阪880万人訓練」は、様々な自然災害から地域再生における二次災害を認識し、自分の身を守る行動がとれるようにすることを目的に、大阪府、大阪市、堺市の3者合同で実施されるものです。本学でも、履修川キャンパスM棟総合体育館及び履修川市民センターM棟の7階で地震発生訓練で火災が発生したと想定し、防火放送、初期消火、安全確認、指定場所への避難などの防火・防災訓練を実施しました。また、その後、希望者を対象とした水消火器を使用した消火訓練も行いました。一人ひとりが防災意識を高め、防災訓練の大切さを学ぶ非常に貴重な機会となりました。
いはんばな学研都市7大学連携「市民公開講座2017」で環境科学の漢口准教授による講演	9月8日（金）、いはんばな学研都市7大学連携「市民公開講座2017」が国立国会図書館西館で開催され、工学部環境科学の漢口准教授が「未来に向けて生物資源をいかに使うか〜研究から見てくること〜」をテーマに講演を行いました。漢口准教授は「人口とエネルギー消費の増加に伴う地球温暖化を、自然エネルギーや省エネ技術で克服できるのか」と言う問題を提起し、自身が研究するデンパやセルロースなど、生物や植物由来のバイオマス資源を使うことで持続可能なエネルギーや材料にすることが解説しました。したがって、効率性、省エネ、高機能と考えられる自然発生の生物や植物を有効に活用するために、自然の構造を理解し、自然と競争をともにすべきだと述べました。本講演は、「いはんばなから『地の発見』」をキーワードに、一般市民の方々の関心の高い分野について専門の講師が最先端の研究事例を分かりやすく解説するもので、今年は9月1日（金）、8日（金）、15日（金）の3日間にかけて開催されています。
履修川市技術・家庭科研究会の方を対とした見学会の実施	9月13日（水）、履修川市技術・家庭科研究会の方を対とした見学会を履修川キャンパスで実施し、履修川市内の中学校の教員14名が参加されました。この見学会は、履修川市の研修の一環として本学が依頼を受けて実施したもので、3D造形機加工センターで3Dプリンタなどの工作機械をご覧いただきました。参加された方々は、最先端の工作機械で作られた3D造形機を見学し、熱心に説明を聞き、質問も聞かれました。この見学会を通して、履修川市の中学校技術・家庭科教育の研究に貢献することができ、参加された方々に本学の施設、設備について興味を持っていただく大変貴重な機会となりました。
守口市立第一中学校の2年生を対象に「職場体験」の実施	11月1日（水）、守口市立第一中学校の2年生2人を対象とした「職場体験」を実施しました。「職場体験」は、生徒が事業所などで実際の仕事を体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。生徒が学ぶことと働くことの意義を理解し、また主体的な進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことを目的としています。この日の職場体験は、履修川キャンパスの図書館で、本や雑誌が図書館に並ぶまでの流れについて説明を受け、圖書整理や配架、貸出・返却業務などを実際に体験しました。また、「職場体験終了後」には履修川市立第一中学校の先生方と、図書館での職場体験の感想を共有しました。2人は普段から地元の図書館に通っていること、図書館の業務を学べたこと、働くことの楽しさややりがいを感じてくれました。本日の経験を通して、働くことの楽しさややりがいを感じてくれました。3日間という短い期間でしたが、働くことの大切さや面白さを感じ、将来について考える貴重な機会となりました。
履修川市立第五中学校の2年生を対象に「職場体験」を実施	1月23日（水）から25日（木）の3日間、履修川市立第五中学校の2年生を対象とした「職場体験」を実施しました。この「職場体験」は、同校のキャリア教育の一環として行われるもので、職場のイメージや勤務の大変さを学ぶこと、職場での実体験から進路を考える視野を広げることなどを目的としています。今回は男子生徒3人に、駅前キャンパスで3日間にわたってデータ入力やアンケート集計、社会人向けに準備したセミナーの資料準備や受付を体験してもらいました。そのほか、挨拶の仕方や電話の取り方など、基本的なマナーも学んでもらいました。慣れないパソコンでの作業や、セミナーでの来場者への対応に戸惑う様子も見られましたが、全員で協力しながら一生懸命取り組んでいました。また、3人は24日には履修川キャンパスの3D造形センターで最先端の工作機械や造形物を見学し、続いて履修川市立第一中学校の先生方と、職場体験の感想を共有しました。3人は、今回の職場体験について、「大学事務の仕事は思ったより大変だったが、楽しくてやりがいがあった」、「学校や家ではできない貴重な経験だった」と話してくれました。3日間という短い期間でしたが、働くことの大切さや面白さを感じ、将来について考える貴重な機会となりました。
履修川市立中央小学校の「チャレンジクラブ」に協力	2月6日（水）、8日（木）、13日（水）、15日（木）の4日間、履修川市立中央小学校による「チャレンジクラブ」が開催され、児童たちのクラブ体験に本学が協力しました。「チャレンジクラブ」とは、履修川市立中央小学校の4～6年生の児童が、学習意欲の向上や技術の習得を目標にスポーツや工作などのクラブ活動体験するイベントで、今年で15回目を迎えます。本学は地域ボランティア活動の一環として協力し、毎年さまざまな講座を実施しています。今年度は、履修川キャンパスでソフトボール、タッチフット、工作、電子工作、管弦楽演奏、卓球の6講座を、中央小学校で映画研究、ハンドボール、アルティメットフットボールの3講座を担当し、各クラブに所属する学生たちが講師を務めました。計124人の児童が参加し、学生たちの指導のもと、元気にスポーツをしたり、工作に夢中で取り組んでいました。児童と学生のみならず、初日は家族連れの子供たちも参加し、世代を超えた交流を促すことができました。
総合情報学部デジタルゲーム学科の学生3名がデザインした「割当地ナンバープレート」が選ばれました	履修川市がナンバープレートを交付している125cc以下のバイクに、全国で初めて排気量別3種類の割当地デザインを導入することになり、本学の学生が考えた作品が選ばれました。このデザインは、平成29年11月6日から22日に市民投票窓口及び市民アンケートを行い決定されたものです。いずれも、市名の由来でもある履修川をモチーフにした「川」と市名の木「桜」がデザインに取り入れられています。